

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	作品研究 4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	全コース			開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	選択			時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習				
教科書/教材	無し。毎回講師が持参するレコードを視聴し、その内容に基づく資料の配布がある時がある。						
担当教員情報							
担当教員	天野 丘			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的							
アナログ音源を試聴することによって学んできた、音源の裏側にある様々な歴史的背景やそれぞれの時代に於ける音楽の流行、またアンダーグラウンドにあった音楽などを基に、総合的に音楽プロデューサー達を研究する。学生が将来プレイヤーとして生きていく場合、制作や興行など音楽に別の立場で従事していくあらゆる場合を含んだことを想定し、仕事を形作ることが出来るようにすることを目的とする。							
到達目標							
「プロデュース」能力を持つということとは一体どういうことなのかを学ぶ。そこには本来の担当楽器を離れた部分での能力も要求され、それは「自分以外の人間の手を、どう、動かしたら、何が成立するのか」ということを知ることと言える。実際のプロデュースとは本質的に何を指すのかを学ぶことによって自分の能力を高めることが最終的な目標となる。							
教育方法等							
授業概要	'80年代までに様々に多様化したポピュラー音楽のアナログ音源を試聴し、それぞれの音源のリリースに際しプロデューサーがどのような仕事をしてきたのか（プレイヤーとしても、なのか或いはプレイヤーとしてではないのか等）の背景を学び、ミュージシャン達をどう動かしたか、またその結果何が、どう作用して、どう音源が成立したかをプロデューサー毎に研究し、学生が自分ならどう、何を作用させれば同じことが、或いはオリジナリティが発揮できるのかを考え、実践する手立てにする。						
注意点	レコード試聴に多くの時間を費やす為、学生と講師間のコミュニケーションや学生の発表の時間と試聴の時間とのメリハリが非常に重要になる。また、学生はメモや講師の板書にも注意するようにしなければならない。音楽の現場では型通りのことは殆ど起こり得ないからである。また、同じ理由から授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	レコードから学ぶプロデュース1			ロック/ポップス系（Ted Templeman 「Van Helen」 「Montrose」他）を理解する。			
2 回	レコードから学ぶプロデュース2			ロック/ポップス系（Roy Thomas Baker 「Queen」 「Jorney」他）を理解する。			
3 回	レコードから学ぶプロデュース3			ロック/ポップス系（Tom Dowd 「James Gang/Miami」他）を理解する。			
4 回	レコードから学ぶプロデュース4			ロック/ポップス系（Geoge Martin 「Jeff Beck/Blow by blow」他）を理解する。			
5 回	レコードから学ぶプロデュース5			ロック/ポップス系（David Foster 「Lisa Dal Bello」他）を理解する。			
6 回	レコードから学ぶプロデュース6			ロック/ポップス系（Quincy Jones 「Lesley Gore/Love me by name」他）を理解する。			
7 回	レコードから学ぶプロデュース7			ロック/ポップス系（Todd Rundgren「Grandfunk Railroad/We're an american band」）を理解する。			
8 回	レコードから学ぶプロデュース8			ジャズ系（Alfred Lion 「Canonboll Addaleay/Somethin' else」他）を理解する。			
9 回	レコードから学ぶプロデュース9			ジャズ系（Bob Winestock 「Miles Davis/Workin'」他）を理解する。			
1 0 回	レコードから学ぶプロデュース10			ジャズ系（Orrin Keepnews 「Bill Evans/Sunday at Vanguard」他）を理解する。			
1 1 回	レコードから学ぶプロデュース11			ジャズ系（Noman Grants 「Ella & Pass again」他）を理解する。			
1 2 回	レコードから学ぶプロデュース12			ジャズ系（Manfred Eicher 「Pat Metheny/Offranp」他）を理解する。			
1 3 回	レコードから学ぶプロデュース13			ジャズ系（Holst Weber 「マル・ウォルドロンに捧ぐ/山下洋輔」他）を理解する。			
1 4 回	レコードから学ぶプロデュース14			ジャズ系（Creed Taylor 「George Benson/Bad Benson」他）を理解する。			
1 5 回	まとめ			これまでの総まとめ			